

投資ファンド『一銭』 事業等のリスク

当ファンドの事業活動・財務状況に影響を及ぼす可能性のあるリスクとして、認識しているのは以下のような事柄です。なお、これらは当ファンドに関わる全てのリスクを網羅したものではなく、代表的なリスクを列挙しております。

私たちは常にこうした潜在的なリスクに注意を払い、万が一リスクが顕在化した場合においても迅速かつ適切に対処できるよう、日頃よりリスク管理体制の構築に努めます。

1. 市場リスク

■ 株価・為替変動のリスク

当ファンドの運用成績は言うまでもなく、保有銘柄の株価や為替変動により大きく左右されます。特に現状ポートフォリオに占める輸送用機器関連銘柄の比率が高いため、急激な円高進行や自動車の販売不振、米国トランプ政権による日本車叩き、新たな地政学的リスクの出現等により、保有銘柄の株価が取得価格より下落した場合、多額の損失が発生する可能性があります。なお、運用資金(保有証券時価+買付余力の合計)が最低資本金の1000万円を下回った場合、若しくは自己資本規制比率が120%以下となった場合、当ファンドは業務停止となります。

■ 法的規制のリスク

有価証券をはじめ、金融商品の取引は金融商品取引法やその他関係法令の規制を受けます。執行した取引が意図せず同法令に抵触する不公正な取引(相場操縦的行為等)に該当すると当局から認定された場合、刑事罰・課徴金の納付命令等を受ける可能性があります。

■ 税制改正のリスク

有価証券の譲渡益および配当金に係る所得税等の税制が改正され、税率が現行の20.315%から引き上げられた場合、税負担がさらに増加し運用益が減少する可能性があります。

■ 金利変動のリスク

当ファンドの運用資金は全て自己資金であるため、借入金の金利変動リスクは存在しません。

2. 取引先リスク

■ 運用資金喪失のリスク

当ファンドの運用資金は全て金融口座内で管理しているため、キャッシュカードのスキミングや金融機関のサーバーがハッキング等の被害を受けた場合、預託する現金が不正に引き出され結果的に運用資金のほとんどを喪失する可能性があります。

■ 買収・乗っ取りのリスク

当ファンドは非公開会社でありますので第三者のTOB等による被買収リスクは存在しませんが、事業内容・財務状況を公開している関係上、様々な投資案件の紹介を受ける機会があります。法人・個人を問わず何らかの悪意を持った相手方に欺かれた場合、人的・資本的支配を受け経営権や運用資金を収奪される可能性があります。

3. 基礎的リスク

■ 健康面のリスク

マーケットと対峙しながら多額の資金を運用するトレーダーは、絶えずストレスにさらされており、そのことにより心身に不調をきたした場合、集中力や判断力の低下により最良の条件で取引を執行することや取引自体を継続することが困難になる可能性があります。

■ 端末不具合・通信障害のリスク

有価証券等の売買注文は全てトレードセンターのPC端末や携帯端末の操作により行いますが、それらの端末や通信回線に不具合や障害等が生じ、売買注文が出せない状況が続いた場合、市場の変化に対して適切な対応をとることができず、予期せぬ損害を被る可能性があります。

■ 追加保証金・負債発生リスク

最良執行方針の規定により他人資本やレバレッジを用いる信用取引・先物・オプション・FX等、全ての差金決済取引を禁止しているため、追加保証金及び負債発生リスクは存在しません。

※上記リスクのうち将来に関する事項については、2017年5月時点で入手可能な情報に基づき、今後起こりうる現実的なシナリオを想定して記載しています。

以上